

平成 27 年度 教育活動その他の学校運営

専門学校 読売自動車大学校

1. 学校の運営方針

現政権の経済政策や平成32年の東京オリンピック開催等により、景気の先行きに明るい見通しが出てきたとはいえ、少子化の進行もあって学院を取り巻く環境が好転していると実感できる状況には至っていない。

経済環境に左右されずに経営の安定を図っていくには、資格取得を中心に、確かな技術と知識を持ち、即戦力となる人材を社会に送り出す養成機関としての位置づけを再確認し、教職員の質の向上を通じた教育レベルの向上を図ることを地道に続けることが重要である。

それらの実現のために、例年3か年計画を作成し、経営の点検、業務の見直しを行っている。また、迅速な課題処理、意思決定を行うため、随時常勤理事会を開催している。

平成26年度には創立45周年記念事業として「読売式教育メソッド」を策定、「人間力」「専門力」「就職力」「資格取得力」「基礎学力」を五つの柱に据えて、本校の教育方針を具体化した。中長期的な視点から学院の望ましい将来像を描くために、理事長直属の「読売理工学院将来構想委員会」も設置しており、創立50周年を迎える平成31年をめぐり、学校施設の安全性強化を含めた教育環境の整備や教職員の処遇改善等を進めることにしている。

スムーズな学院運営を図るため、経営トップと教職員との意思疎通を積極的にすすめ、教職員会議を毎月開催して学院の現状などについて意見交換を行っている。

2. 学校の概要

① 建学の精神

読売理工学院は、新しい時代、新しい社会、新しい世紀を築く科学技術の進歩と発展に合わせて知識を学ぶ高等教育機関であり、優れた技能、技術者の養成を建学の精神とする。

自由で、創造性豊かな全ての青年たちに、民族や宗教、国境を越えて門戸を開き、未来の地球を支える科学技術力を、実学、実習、実践を通じて身に付ける。

働きながら学ぶ青年たちにも教育の機会をより多く設け、社会人のための生涯学習の場としての役割も担う。

教育の自由を確立するため、何人にもよらず、自主自立で学院の経営をすすめ、文化と伝統を守る。良心なき教育は人間の魂を滅ぼすことを忘れてはならない。

② 本校の特色

本校は新聞配達業務を行いながら学ぶ、読売育英奨学生を受け入れることを、創立以来変わらぬ理念としている。また、本校は「教員は自動車エンジニアの先輩として、後輩である学生を大切に育てる校風」である。

③ 校長：榎本 俊弥

④ 所在地：東京都江東区亀戸 2-28-5

⑤ 沿革

1969. 11.20 学校法人読売理工学院設立発起人会で学院設立を決議。
以来、この日を創立記念日とする。
1970. 1.31 学校法人読売理工学院の設置認可。理事長に小野昇氏が就任。
東京理工専門学校（三田校）の設置認可。初代校長に三輪光雄氏が就任。
- 3.23 「校章」の制定。図案制作は神谷幸衛氏。
4. 1 三田校開校（5月9日に開校式）。
1976. 4.10 「校歌」を制定。作詩・小野昇氏 作曲・團伊玖磨氏
6. 1 三田校が学校教育法による専修学校の専門課程（工業系）として認可を受ける
1978. 6.11 理工専奨学生後援会が発足。初代会長に浜田吉治氏
1979. 4. 1 「建学の本旨」を制定
- 4.20 建学の本旨に基づく「教育方針」を制定
1980. 4. 1 「特待生」制度を制定
- 6.30 学院理事長（第2代）に竹内繁氏が就任
1982. 4. 1 三田校から自動車学科が分離独立して、東京江東理工専門学校（江東校）開校
校長は崎川範行氏が兼任
1983. 4. 1 校名を「読売」の名を冠した「読売江東理工専門学校」と改称
1984. 9.18 文部省の依頼で85年度から初の「国費留学生」受け入れを決定
1987. 4. 1 校長（第2代）に松浦悦之氏が就任。崎川氏は名誉校長に
1990. 4. 1 ノーベル物理学賞・文化勲章受章者の江崎玲於奈氏が学院特別顧問に就任（～1992.2）
1992. 7. 3 学院理事長（第3代）に杉林昇氏が就任
- 10.19 文部省から専修学校職業教育高度化開発委託事業研究校の指定を受ける
1994. 7. 3 学院理事長（第4代）に原孝文氏が就任。三田校校長（第4代）を兼務
1995. 1.23 文部省告示により、卒業生に「専門士」の称号を付与できる学校として認定される
- 2.21 本学院が東京都から「特定公益増進法人」の認定を受ける
1996. 7. 3 校長を原孝文氏が兼務
1997. 4. 1 校長（第3代）に本間三郎氏が就任
9. 1 正力厚生会「読売理工学院奨学生」制度を制定
1998. 6.15 学院理事長（第5代）に浅野秀満氏が就任
2000. 6. 5 学院理事長（第6代）に松井隆義氏が就任
2001. 5. 1 学校創設者「小林與三次記念育英奨学金」制度を制定
2002. 6.15 学院理事長（第7代）に石川弘修氏が就任
- 12.16 一級整備士課程「自動車整備研究科」の新設認可を受ける
2005. 12. 9 「自動車整備研究科 4年課程」は文部科学省より大学院入学資格付与および高度専門士の称号付与の告示を受ける
2006. 4. 1 4年制課程の設置許可を受け校名を「専門学校 読売自動車大学校」に改称
2007. 1. 1 校長（第4代）に学院理事長の石川弘修氏が就任。
2. 5 読売理工学院はオーストラリア東部クイーンズランド州政府が運営する技術教育専門学校のゴールドコースト校と姉妹校提携を結んだ
2008. 6.11 学院理事長（第8代）兼校長（第5代）に上村武志氏が就任

2009.	4.1	校長（第6代）に榎本俊弥氏が就任
	10.1	元文部科学相の遠山敦子氏（現、公益財団法人トヨタ財団理事長）が理事就任。
2011.	4.1	臨床心理士にスクールカウンセラーを委嘱
	6.8	学院理事長（第9代）に原野喜一郎氏が就任
2012.	11.18	江東校独立・移転30周年記念同窓会・講演会を開催。
2014.	2.14	本館の耐震補強工事が完了
2014.	3.31	「1級整備学科」「自動車整備学科」が文部科学省により「職業実践専門課程」に認定される
2014.	5.16	学院理事長（第10代）に国松徹氏が就任
2015.	6.10	学院理事長（第11代）に千葉康文氏（三田校校長兼任）が就任

3. 各学科の教育

①入学者数、収容定員、在学学生数

学 科	昼夜別	修業年限	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数
自動車整備学科	昼間	2年	240名	480名	183名	352名
1級整備学科	昼間	4年	40名	160名	31名	99名

②生涯学習環境の整備への支援等

「一般社団法人 東京都自動車整備振興会」の自動車整備技術講習所として、社会人に対する二級自動車整備士の技術講習（夜間）を実施している。

③資格取得

各学科の、養成・認定資格と在学中に受験指導する資格は次の通り。

【自動車整備学科】

- 養成資格：
- ・二級ガソリン自動車整備士
 - ・二級ジーゼル自動車整備士
 - ・二級二輪自動車整備士
- 受験指導：
- ・乙種四類危険物取扱者
 - ・ソーシャル検定中級
 - ・中古自動車査定士
- 講習会：
- ・低圧電気取扱特別講習
 - ・普通救命講習

【1級整備学科】

- 養成資格：
- ・一級小型自動車整備士
- 受験指導：
- ・職業訓練指導員
 - ・ソーシャル検定上級
 - ・第二種電気工事士
- 講習会：
- ・CNG自動車点検整備主任者講習

④卒業生数と就職率：平成26年度

学 科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	進学者数
自動車整備学科	128名	103名	101名	12名
1級整備学科	27名	26名	26名	0名

※自動車整備学科の主な進学先は、本校の1級整備士課程。

4. 教職員

①教職員数

教職員数は、専任教員19名、専任職員10名で合計29名。内訳は次の通り。

【専任教員】

校長1名、1級整備学科4名、自動車整備学科15名

【専任職員】

法人本部長1名、事務局長1名、事務局次長1名、職員7名

5. キャリア教育・実践的職業教育

①キャリア教育

科目名： 「ビジネスマナー1」 23.8単位時間、 1年前期、 選択必修

「ビジネスマナー2」 23.8単位時間、 1年後期、 選択必修

対象学科： 自動車整備学科、1級整備学科

授業概要： 就職活動をするにあたり、社会人として必要な基礎的な知識やマナー、書類の書き方、面接の心構えなどを指導する。

②就職支援

- ・学科合同の支援： 保護者向けセミナー、就職説明会、模擬面接
- ・学科毎の支援： 就職希望調査、就職ガイダンス、個人面談、就職模擬試験、個人指導

③インターンシップ

- ・1級整備学科

科目名： 「インターンシップ（体験実習）」 220.8単位時間、 4年前期、 必修

実習企業： 内定先企業または学校斡旋企業

実習内容： 自動車整備士としての点検整備作業、故障探究、分解整備作業、顧客対応の基本などを実施。

6. 様々な教育活動・教育環境

①学校行事

- ・6月：スポーツ大会、 10月：学園祭、 11月：ラリー大会

②クラブ活動

- ・車両研究クラブ、機械工作部、カートクラブ、軟式野球部、ウィンタースポーツクラブ、バスケットボール部、ゴルフ部、吹奏楽部、ラジコン部、写真クラブ、

7. 学生の生活支援

①学生支援

- ・臨床心理士による学生カウンセリング
- ・学生相談室
臨床心理士による学生カウンセリングを週1日実施。
- ・留学生相談室
勉強や日常生活に関する問題に、相談スタッフが対応。

8. 学生納付金・就学支援

①学生納付金

- ・分納制度は、全学科で実施。

自動車整備学科 1級整備学科	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	170,000円			
授業料	230,000円	230,000円	230,000円	230,000円
施設・維持費	135,000円	135,000円	135,000円	135,000円
実習費	130,000円	130,000円	130,000円	130,000円
合計	665,000円	495,000円	495,000円	495,000円

1級整備学科	3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期
授業料	230,000円	230,000円	230,000円	230,000円
施設・維持費	135,000円	135,000円	135,000円	135,000円
実習費	140,000円	140,000円	140,000円	140,000円
合計	505,000円	505,000円	505,000円	505,000円

②奨学金制度

本校では、次の奨学金制度により学生支援を実施している。

【読売育英奨学金制度】

配達業務等に就きながら学業との両立を支援する制度で、奨学金と給与・賞与が支給される。

【学費支援制度】

経済的に困窮している入学希望者を対象として、入学時学納金の一部を支援する制度。

【小林與三次記念育英奨学金制度】

経済的に困窮している成績優秀な在校生を対象として、修学資金の一部を支給する制度。

【読売理工専校友会特待生制度】

学業・人物・生活態度が良好な在校生に対し、学費の一部を助成する制度。

9. 学校の財務

- ・貸借対照表、収支計算書は別添。

10. 学校評価

- ①平成 26 年度自己評価報告書を HP で公表。
- ②平成 26 年度学校関係者評価報告書を HP で公表。

11. 国際連携の状況

①姉妹校提携

平成 19 年 2 月、オーストラリアのクイーンズランド州立専門学校（TAFE）である、ゴールドコースト・インスティテュート・オブ・ティフと姉妹校提携し、海外研修派遣制度特待生と自費参加者を派遣している。

研修内容：滞在中はホームステイし、英会話研修と専攻分野の視察や実習を行う。

日 程：毎年 3 月上旬の 10 日間程度。

12. その他

- ①学則
- ②財務情報